



平成28年度 地域福祉フォーラム

「繰り返される震災禍」

～熊本地震から私たちが学ぶこと～

入場無料
(申込不要)

大きな被害をもたらした熊本地震から3ヵ月。この大規模災害によって、私たちが決して油断してはならない現状にあることを思い知らされました。熊本で続けられている支援活動の“今”を知り、いずれ起こるとされる「南海トラフ地震」に対して、私たち一人ひとりに何ができるのか。「災害に強い地域づくり」に欠かせない要素である「地域の福祉力」を高めるために必要なことは何か。参加者とともに考える機会として開催します。

平成28年 7月30日(土) 開演 午後1時30分 ※開場 午後1時
春日井市総合福祉センター 大ホール

- 【内容】 ① 活動報告 「熊本地震における被災地支援活動の現場から」
 【報告者】 NPO災害ボランティア 愛・知・人
 代表 赤池 博美氏
- ② 講演 「春日井市で起こりうる災害と地域の防災力を考える
 — 災害から学ぶ減災の知恵 —」
 【講師】 中部大学 工学部 都市建設工学科
 教授 杉井 俊夫氏

問合せ 地域活動支援課 TEL : 85-4321 (月曜日～金曜日(祝日を除く)午前8時30分から午後5時まで)

主な
予定

- 7月 9日(土) 福祉の里 レインボーフリマ
- 7月10日(日) 児童センターまつり
- 7月16日(土) 福祉の里 日舞と園児の発表広場
- 7月22日(金) 第二希望の家 夏まつり
- 7月22日(金)～8月10日(水) 青少年ボランティアスクール
- 7月30日(土) 地域福祉フォーラム
- 8月 5日(金) 福祉の里 親子で施設見学
- 8月 5日(金) 第一希望の家 夏まつり
- 8月20日(土) 福祉の里 サマーフェスタ(交流広場)
- 8月23日(火)～27日(土) 福祉の里 サマーフェスタ(あそびの広場)
- 9月 1日(木)～30日(金) ボラン☆タイム

「ひらひらちゃん」
春日井市社会福祉協議会
シンボルマーク





ボランティアセンターの 事業に参加しませんか★



ボランティアセンター
マスコットキャラクター
ぼらら

ボランティアセンターでは、「ボランティアを始めたい」
「何かできることはないかな？」
そんな方に向けて、色々な事業を予定しています♪
ぜひ新しい一歩を踏み出してみませんか？

青少年ボランティアスクール

春日井市内の小学校5年生～高校生までを
対象に、楽しく学べるボランティアスクールです★

事前学習 7月22日(金) 14:00～15:30
〈場 所〉 市民活動支援センター

活動体験 7月26日(火)～8月9日(火)
〈場 所〉 市内各所の希望の体験先

みんなで体験 8月10日(水) 12:30～16:30
〈場 所〉 総合福祉センター、高齢者施設

●最終日は、参加者全員でバスで移動し、春日丘高等学校インターアクトクラブの高校生と
一緒に高齢者施設でボランティア活動体験をします！



同じくらいの年齢の
みんなと友達に
なりながら、
ボランティアを体験
できてとっても
楽しいよ！



ボランティアサロン

ボランティアについて気軽に話す交流会です★
どなたでも参加可能！ 事前申込不要！

日にち	内 容
7月15日(金)	子ども対象のボランティア
12月15日(木)	その他(国際交流、災害など)を対象としたボランティア

時 間： 10:00～12:00
場 所： 総合福祉センターボランティアルーム



お茶を飲みながら、ゆったりボラン
ティアについて感じることや悩みな
どを楽しくお話しています★



オトナのボランティアスクール

春日井市内に在住、在学、在勤の18歳以上を対象に、仲間と一緒に始められるボランティアスクールです★

	日時	場所
ホームルーム (事前学習)	9月7日(水) 13:30~15:30	市民活動支援センター
1 限目 (座学「傾聴について」)	9月14日(水) 10:00~12:00	市民活動支援センター
2 限目 (シルバー疑似体験)	9月21日(水) 13:30~15:30	総合福祉センター
3 限目 (活動報告会)	10月4日(火) 10:00~12:00	総合福祉センター
課外活動 (活動体験)	9月9日(金)~ 10月3日(月)	希望の体験先

※7月26日(火)より受付開始



身近な地域で行っている子育て支援サロンのお手伝いなど、自分の興味・関心に合わせたボランティア活動体験を行えます♪
学校のように、楽しくわいわい学べますよ!

ボランティアについて考えよう!
参加しよう!

ボラン★タイム

9月1日(木)~9月30日(金)は、ボランティアについて考えたり、ボランティアに実際に参加する期間=ボラン★タイム(ボランティア月間)です♪
小さなことから始められるボランティア、ぜひこの機会にチャレンジしてみませんか?



ちよいボラ
体験

「未使用文具を集めて、児童養護施設に届けよう!」

未使用の鉛筆やノート、消しゴムなど、家に余っていて使っていないものはありませんか? 未使用文具を集めて届けることも、ボランティア活動のひとつです♪
ぜひ、ご参加ください☆

回収場所 総合福祉センター 地域活動支援課 他 市内協力施設
※詳しくは、ホームページをご覧ください



ぼららのらら♪

ボランティア日記

6月には、傾聴ボランティアの養成講座があったよ!
傾聴ボランティアは、高齢者のお宅に伺ってお話相手になるボランティア★
「ちょっと話を聞いてもらいたいな」そんなときに活躍するんだ!
最近では、被災地などでも話し相手になってほしいという声も聞くね★
注目のボランティア活動なんだね★



講座に関する申込み及び問合せは、**地域活動支援課** まで

TEL : 85-4321 FAX : 86-3156

Email : chiiki-fukushi@haru-syafuku.or.jp



市社協事業への御協力ありがとうございました。

受託事業 (103,308,593円)

高齢者・障がい者権利擁護センター事業 (相談件数632件)
 障がい者生活支援センター事業 (相談件数1,921件)
 地域包括支援センター事業 (相談件数1,087件ほか)
 (ここにこヘルプサービス事業 (登録世帯数314世帯)
 シルバーハウジング事業 (入居世帯数57世帯)
 日常生活自立支援事業 (登録人数55人)
 介護予防活動支援事業 (8会場、延べ4,463人) など

自主運営事業 (242,181,927円)

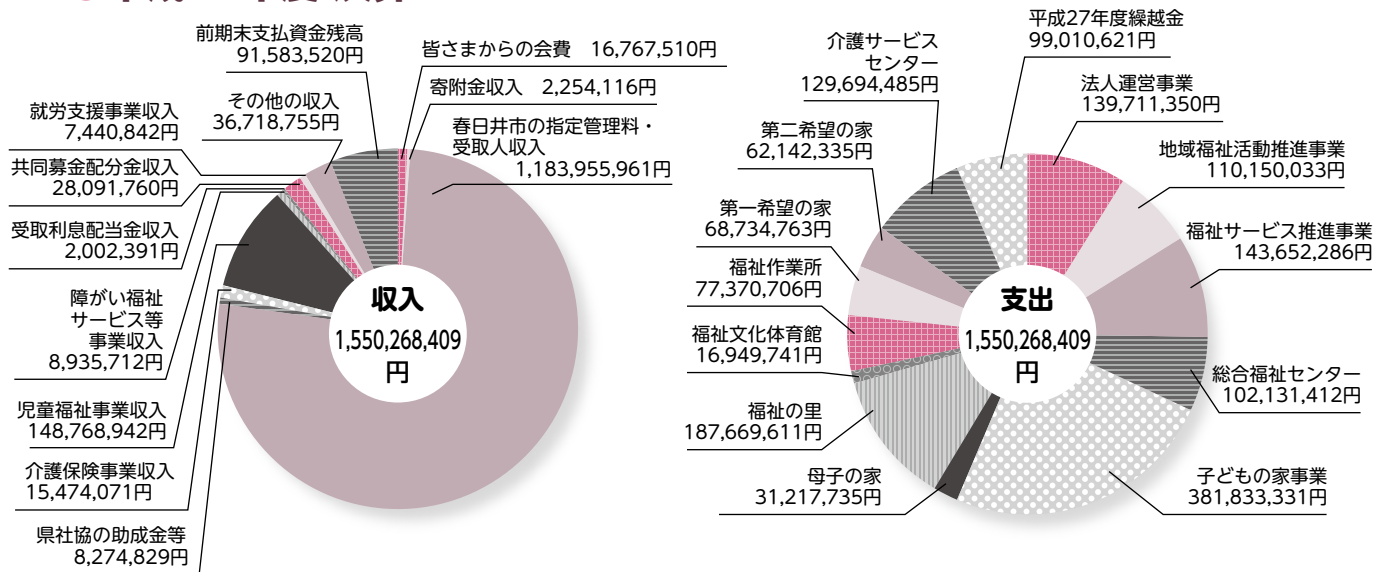
地域福祉活動推進事業
 [会員募集の推進 (会員数52,356件)、地区社協への支援 (41地区)、福祉教育など]
 共同募金配分金事業
 [高齢者等サロン事業 (38サロン、延べ14,521人)、子育て支援サロン事業 (18サロン、延べ9,236人)、地区社協会長会議等の開催 (延べ17回)、ボランティア相談 (延べ944人)、ボランティアサロンの開催 (年8回)、社協だより (年3回発行)、地域みっちゃく生活情報誌「はるる」への掲載 (年12回) など]
 法人運営事業 (理事会・評議員会等の開催 (年10回)、職員研修)
 各種福祉大会 (参加者数延べ500人)
 社会福祉基金事業

指定管理事業

(1,105,767,268円)

総合福祉センター、子どもの家 (30か所)、母子の家、福祉の里、福祉文化体育館、福祉作業所、第一希望の家、第二希望の家、介護サービスセンターの運営

●平成27年度 決算



社会福祉協議会への御寄附ありがとうございました。 (平成28年2月～5月)

- 友松義雄
 - ユニー(株)ピアゴ篠木店
 - ユニー(株)ピアゴ気噴店
 - ユニー(株)ピアゴ中切店
 - ユニー(株)アピタ高蔵寺店
 - 竹の子会
 - 名古屋ヤクルト販売(株)
 - 愛知県小商業協同組合春日井支部
 - (公社)日本詩吟学院練成会本部
 - 匿名2件
- (順不同・敬称略)

平成28年度は、前年度見直しを行った第3次春日井市地域福祉活動計画（第2次改訂版）に基づき、各地区社会福祉協議会が開催する高齢者等サロン及び子育て支援サロンの支援、共同募金委員会への協力など、各種事業を継続実施するとともに、昨年7月に開設した高齢者・障がい者権利擁護センターに市民後見人候補者登録バンクを設置し、認知症など判断能力が十分でない方の地域生活を支援するために住民参加型の権利擁護の促進を図ります。

また、指定管理事業におきましては、子どもの家、希望の家など本会が管理運営する施設において、管理業務計画書に沿って適切に業務を遂行するとともに、地区社協事業への参加やバザーの開催など、地域の方との交流を深める事業を継続実施します。

こうした事業の推進を図り、全ての住民がともに支え合い、助け合い、安心して暮らせる地域社会の実現に向けて、様々な活動に取り組んでまいります。



法人運営事業 (203,006,000円)

理事会・評議員会の開催
職員研修、各種福祉大会
社会福祉基金事業など

福祉サービス推進事業 (158,884,000円)

生活福祉資金貸付事業
くらし資金貸付事業
日常生活自立支援事業
地域包括支援センター事業
にこにこヘルプサービス事業
シルバーハウジング事業
居宅介護支援事業
基幹相談支援センター事業
権利擁護センター事業

地域福祉活動推進事業

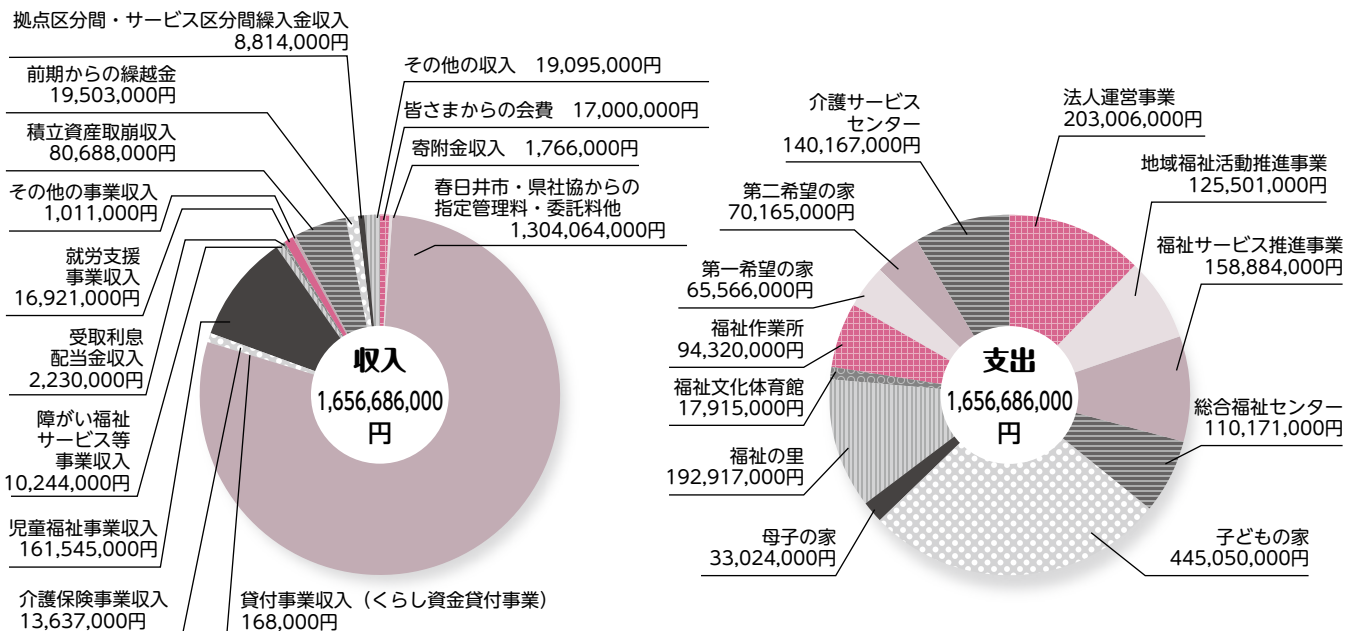
(125,501,000円)

地域福祉活動推進事業
〔会員募集の推進、地区社協への支援、福祉教育の推進など〕
介護予防活動支援事業
共同募金配分金事業
〔地区社協への支援、ボランティア活動の推進、災害救援体制の強化、広報活動の推進など〕

指定管理事業 (1,169,295,000円)

総合福祉センター、子どもの家、母子の家、福祉の里、福祉文化体育館、福祉作業所、第一希望の家、第二希望の家、介護サービスセンター

●平成28年度 予算



社会福祉協議会の会員を募集中です!

本会は、広く市民の皆様の参加のもとに、民生児童委員や福祉関係事業者等の協力を得ながら、「誰もが安心して住み慣れたまちで暮らすことのできる地域づくり」を進めるため、本会の事業に賛同いただく方を会員として募り、その会費を地域福祉活動の財源としています。

ぜひ、今年度も多くの方々に会員となっただき、地域福祉の推進に御協力いただきますようお願いいたします。

会員 種別	世帯会員	300円
	世帯特別会員	1,000円
	法人・団体会員	3,000円
	特別会員	10,000円以上

約8割

地区社会福祉協議会の活動費として助成

会費の使途

約2割

全市的な地域福祉事業に使用

新規!!

高齢者等サロン事業のご紹介

高齢者や障がい者の社会参加や生きがいを目的として地区社会福祉協議会が実施する「高齢者等サロン事業」を紹介します。今年度も新規サロンが立ち上がりました!

上条新田地区
社会福祉協議会

柏原サロン

日 時：毎月第2水曜日 10:00~12:00
場 所：柏原公民館
内 容：体操、ゲーム、茶話会など



地区
社協会長
より

2年間の介護予防活動支援事業を経て、いよいよこの4月からよちよち歩きかけたサロンです。器具や備品の用意、プログラムの作成、会費や町内会との調整など、9人の協力員の社会経験と抜群の知恵でスタートを切ることが出来ました。初日には、何人の参加者が来られるか不安でしたが、30人を超える方々の参加があり、嬉しい限りです。これからも、皆さんと楽しいサロンにしていきたいと思います!

鷹来地区
社会福祉協議会

桃山サロン

日 時：毎月第1水曜日 10:00~12:00
場 所：桃山区公民館
内 容：体操、脳トレ、誕生会など



地区
社協会長
より

鷹来地区の3カ所目のサロンです。ピカピカの公民館で楽しい時間を一緒に過ごしましょう!



あなたも高齢者等サロン事業に参加・協力してみませんか

問合せ

地域活動支援課

TEL : 85-4321

お知らせ掲示板

障がいのことを知るための出張講座

基幹相談支援センターしゃきょうでは、障がい者支援に関する研修や勉強会・啓発のための出張講座を実施しています。詳しくはホームページをご覧ください。

基幹相談支援センターしゃきょう

検索

- ・対象 春日井市民、春日井市内の団体（5名以上からお受けいたします）
- ・日時 月曜日～金曜日（祝日を除く）午前9時～午後5時
- ・費用 無料
- ・問合せ 基幹相談支援センターしゃきょう TEL 84-5300

第二希望の家 夏まつり

- ・日時 7月22日（金）午前10時～午後1時30分
- ・場所 春日井市第二希望の家
- ・内容 模擬店、ゲーム、お楽しみショーなど
- ・問合せ TEL 92-5410



子どもの家 夏季臨時補助指導員追加募集

- ・勤務 7月21日（木）～8月31日（水）
（土・日・祝日を除く）午前8時～午後7時のうち3～4時間程度か7時間勤務
- ・勤務地 市内子どもの家30施設
- ・対象者 (1)以下のいずれかの要件を満たす人
ア 保育士、社会福祉士又は教員免許の資格を取得している人
イ 学校教育法による大学（大学院を含む）において社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学もしくは体育学のいずれかを専修する学科、又は過程を卒業した人
ウ 学校教育法による高等学校を卒業した

人で、2年以上児童福祉事業に従事、又は放課後児童健全育成事業に類似する事業に従事した人

(2)該当要件なし

- ・賃金 (1)要件該当後4年以上…1,080円、4年未満…950円
(2)920円

※交通費を1通勤につき240円支給

- ・申込み 7月11日（月）まで（日曜日を除く）午前9時～午後6時に、市販の履歴書、(1)のイは資格証の写し、イは卒業証明書又は卒業証書の写し、ウは従事年数を証明するものを添えて、本人が直接、子どもの家本部（総合福祉センター内）（TEL 84-3241）へ

今月の社協さん



地域活動支援課
伊藤 綾香さん
入職3年目

Q 担当業務は？

ボランティアや地区社会福祉協議会（地区社協）、福祉教育についての業務を担当しています。

ボランティアについては、ボランティア活動をしてほしい人や活動をしたい人に対して、情報提供を行ったり、ボランティアを始めるきっかけになるような講座を企画し、多くの人がボランティア活動に取り組みやすい環境づくりを行っています。

福祉教育では、小中学校等で行われる福祉体験学習（手話や点字など）に対して、物品の貸出や講師のボランティアの方との調整を行っています。「高齢になったり、障がいがあっても、いきいきと暮らすことができる」ということを子ども達に感じてもらえるよう、取り組んでいます。

どの業務もボランティアの皆さんのお力を借りながら行っています。

Q 仕事のやりがいは？

仕事を通じて、多くの人とつながることができ、ボランティアの方が、笑顔でいきいきと活動されている姿をお見かけした時にやりがいを感じます。また、仕事を退職された方が、「何か自分にできることをしたい」と講座に参加してくださり、そ

の後も楽しく活動を続けてくださっていると、講座を企画した立場として、とても嬉しく思います。

人生の先輩でもあるボランティアの方と接していると、とても勉強になることが多く、「自分達の地域を良くしていきたい」という熱い想いが伝わってきます。

Q 今後の抱負を

ボランティアの方がいきいきと活動する姿を皆さんにお伝えし、多くの人にボランティアに関心を持ってもらい、「ボランティアって楽しい、やってみたい」と思っただけよう、工夫していきたいです。

Q 趣味は？

大学生の頃から、趣味でアカペラを行っています。テレビ番組の「ハモネブ」というイメージを持ってもらいやすいかもしれませんが、数人でグループを組み、楽器を使わず、ベースやパーカッションなども含めて、人の声だけで音楽をつくります。一人ひとりの歌声が綺麗に重なり合ったときは、とても気持ち良く、仲間との一体感や爽快感を感じます。何気なく音楽を聴いていても、無意識にハモってしまいます。カラオケで歌っている友人にハモると、とても喜ばれるのも嬉しいです。

社会人になった今は、定期的に活動することは難しくなりましたが、友人の結婚式などで披露したりしています。私と一緒にカラオケに行ったときには、ぜひ依頼してくださいね。ハモります！（笑）

広報担当の取材日記

社協は
こんなことを
やっています



今回は5月10日に行われたボランティア連絡協議会の総会に取材に行ってきました。あわせて、会員であるボランティアさんに、インタビューをさせていただきました。

総会では、昨年度の報告や今年度の計画を審議し、今年度の役員さんから挨拶がありました。



【ボランティア連絡協議会とは】

ボランティア同士の交流や資質の向上を目的とした組織で、ボランティアセンターに登録された方全員で構成されています。ボランティア活動がより活性化するように、日々打ち合わせを重ね、事業を計画しています。



続いて行われた講座では、愛知県健康事務局から講師を招き、「笑い体操」について学びました。笑うことの大切さや具体的な体の動かし方などを、ユーモアたっぷりにお話ししてくださいました。右上の写真のように、皆さんとても楽しそうでした。



ボランティアさんへのインタビュー！



大野 博隆さん

個人ボランティアとして登録されており、防災・防犯に関するものや、資格や経験を活かした活動をされています。また、春日井市災害ボランティアコーディネーター連絡会やNPO法人愛岐トンネル群保存再生委員会に所属されています。

●ボランティアを始めて嬉しかったことや良かったこと

参加者等から感謝の思いを伝えられると、達成感や充実感を感じます。また、ボランティアを行うようになってからは、周りに対して優しくなりました。仕事をしていた時は、常に収支や期限に追われていましたが、ボランティア活動はそうではありません。

全く違う人生を歩んできた異業種の人たちと知り合いになれることも、楽しみの一つになっています。



でこぼこキッズさん

福祉施設等でマジック披露などの活動をしています。



●ボランティアを始めたきっかけ

子育てや介護が一段落し、社会と関わりを持ちたいと思いました。社協主催の講座に参加し、子育て支援サロンを手伝うようになったのがきっかけです。

●ボランティアを始めて嬉しかったことや良かったこと

社会と関わりを持つことで、自分の世界や視界が広がりました。活動をとおして多くの人たちと知り合うこともできました。また、マジックを披露する前のドキドキ感は、普段の生活では味わうことはできません。



インタビューをさせていただいた方や総会に参加されていた方々が、とてもイキイキとした表情をされていたことが印象的でした。インタビューの中にもあったように、ボランティアさん自身も活動をとおして、充実感や仲間などの多くのものを得ているということが言葉や表情から伝わってきました。

社協ではボランティアに関する講座を開催したり、ボランティアをしてほしい人になりたい人のコーディネートをしています。人のため、自分磨きのため、仲間づくりのため、きっかけは人それぞれです。興味のある方、この機会に行動してみませんか。社協はボランティア活動に関するお手伝いをすることで、ボランティアに関わる人たちが笑顔で過ごせるように、活動しています。